セキ株式会社　第73期 事業報告書

SEKI BUSINESS REPORT

2021.4.1 ▶ 2022.3.31

SEKI

地域未来牽引企業

EXECUTIVE MESSAGE
ごあいさつ

代表取締役社長
関　宏孝

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社グループの第73期（2022年3月期）連結決算におきましては、後述の財務ハイライトに記載の通り増益という結果となりました。当社グループが属する業界においては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に印刷需要が大きく減少しております。また、印刷用紙やインキの値上げをはじめとする原材料費や、エネルギー価格高騰により光熱費が大きく上昇するなど、製造現場においても大変厳しい経営環境となっております。今後は、各種コスト上昇にともなう適切な価格改定をすすめ、利益の維持・拡大に努めてまいります。

当社グループにおいては、縮小する印刷市場の中で、顧客の課題解決に取り組み、企画提案を起点とした、印刷のみならずWEBを含めた総合受注を活発化しております。昨今の企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の流れの中では、企業の各種顧客データをはじめとするビッグデータの活用業務、自治体や観光産業での観光DX業務の推進支援業務を強化しております。また、拡大するBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）サービス業務においては、官公庁からの各種キャンペーン事務局の受託業務が拡大しております。一方で、既存の製造現場においては、さらなる生産性向上を目指し、自動化工程の拡大、生産設備の最適化を進めております。

今後もデジタル化が急速に進展する中で、当社における事業ポートフォリオの多様化方針の下、デジタル事業分野での新規事業構築を行っていきます。成長分野であるデジタルマーケティング事業、顧客CRM支援事業など、当社の総合力を生かした新たな提案を強化し、既存事業と並行して成長していく事業へと進化させていきます。成長を続ける軟包装パッケージの水性フレキソ印刷加工事業においては、紙パッケージを含めた総合パッケージ事業を今後も強力に推進していきます。

当社の環境への取り組みに関しては、SDGs宣言のもと、脱炭素を最重要課題としてとらえ、製造現場での脱炭素化に注力しております。お客様への提案においては、CO_2削減数値を明確化することで、お客様の資材調達におけるCO_2排出量削減にも寄与してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

SEGMENT INFORMATION

セグメント別の概況

当社グループは、当社及び連結子会社8社で構成され、次の5事業を主な内容として、事業活動を展開しております。各事業の概要及び当期の業績は次のとおりであります。

印刷関連事業

新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況下、コロナ禍における経済活動を支援する各種補助事業の事務局運営の継続や、アフターコロナを見据えた営業活動への取組みの強化などにより、増益となりました。

売上高 81億9千万円
※前期比 −%

営業利益 1億3千万円
前期比+78.8%

洋紙・板紙販売関連事業

昨年度の需要減の反動による印刷事業者からの用紙受注が増加したものの、費用の増加などにより減益となりました。

売上高 3億7千万円
※前期比 −%

営業損失 1千4百万円
前期は営業損失7百万円

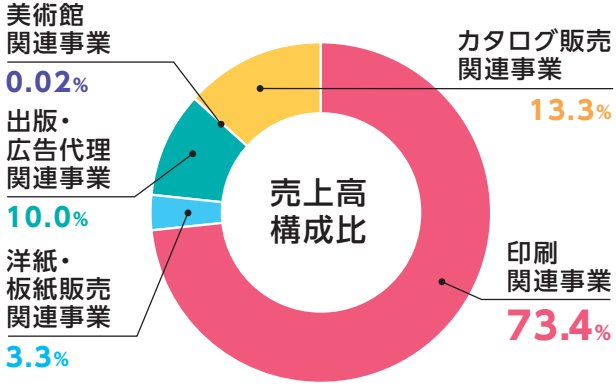
出版・広告代理関連事業

新型コロナウイルス感染拡大による企業の広告出稿の抑制、各種イベントの中止・延期が続きましたが、新型コロナウイルス感染防止対策等の需要取り込みにより、増益となりました。

売上高 11億1千3百万円
※前期比 −%

営業利益 3千1百万円
前期比+135.4%

※当連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」等が適用となり、売上高については前年同期と比較しての増減率は記載しておりません。



カタログ販売関連事業

新型コロナウイルスの感染拡大の厳しい状況下、巣ごもり需要の拡大により個人向けの販売は引き続き好調であったことなどにより、増益となりました。

売上高 14億8千8百万円
※前期比 −%

営業利益 6千6百万円
前期比+9.0%

美術館関連事業

セキ美術館では、ワクチン接種の普及や緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により、道後温泉地区を訪れる観光客が戻り、増益となりました。

売上高 2百万円
※前期比 −%

営業損失 2千4百万円
前期は営業損失2千6百万円

FINANCIAL STATEMENTS

財務諸表［要約］

連結貸借対照表

［単位：千円］

科目	当期末（2022年3月31日）	前期末（2021年3月31日）
《資産の部》		
流動資産	7,507,695	8,499,775
固定資産	9,936,415	9,746,708
有形固定資産	6,058,399	6,419,129
無形固定資産	31,472	45,035
投資その他の資産	3,846,544	3,282,542
資産合計	17,444,111	18,246,483
《負債の部》		
流動負債	1,984,606	2,936,303
固定負債	1,015,667	1,108,905
負債合計	3,000,274	4,045,209
《純資産の部》		
株主資本	13,655,247	13,434,599
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	11,623,508	11,402,860
自己株式	△503,461	△503,461
その他の包括利益累計額	370,194	356,574
その他有価証券評価差額金	375,910	371,573
退職給付に係る調整累計額	△5,715	△14,999
非支配株主持分	418,394	410,100
純資産合計	14,443,837	14,201,274
負債及び純資産合計	17,444,111	18,246,483

連結損益計算書

［単位：千円］

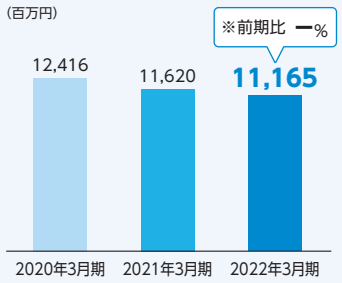
科目	当期（2021年4月 1日から 2022年3月31日まで）	前期（2020年4月 1日から 2021年3月31日まで）
売上高	11,165,270	11,620,814
売上原価	8,443,764	9,035,980
売上総利益	2,721,506	2,584,833
販売費及び一般管理費	2,531,965	2,470,371
営業利益	189,541	114,462
営業外収益	244,203	235,460
営業外費用	11,125	18,304
経常利益	422,619	331,618
特別利益	72,689	43,191
特別損失	29,280	29,336
税金等調整前当期純利益	466,028	345,473
法人税、住民税及び事業税	120,040	114,733
法人税等調整額	7,616	8,029
当期純利益	338,370	222,710
非支配株主に帰属する当期純利益	14,479	20,875
親会社株主に帰属する当期純利益	323,891	201,834

連結キャッシュ・フロー計算書

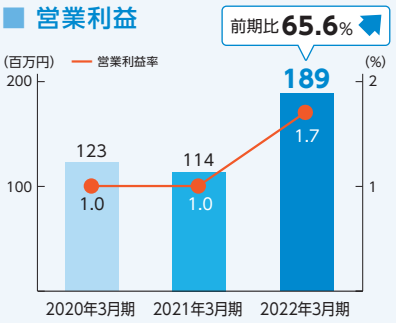
［単位：千円］

科目	当期（2021年4月 1日から 2022年3月31日まで）	前期（2020年4月 1日から 2021年3月31日まで）
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△492,896	1,517,082
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△566,733	1,092,771
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,320	142,756
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	△1,242,950	2,467,097
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	4,698,939	2,231,841
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	3,455,988	4,698,939

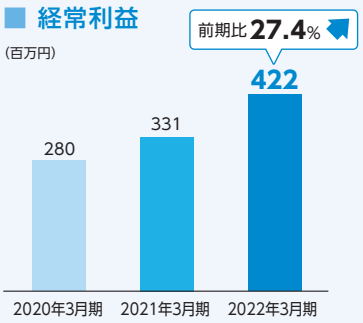
売上高



営業利益



経常利益



※当連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」等が適用となり、売上高については前年同期と比較しての増減率は記載しておりません。

貸借対照表〈単体〉

［単位：千円］

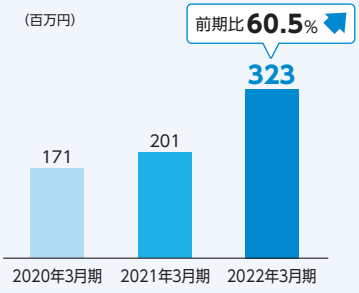
科　　目	当　期　末（2022年3月31日）	前　期　末（2021年3月31日）
《 資産の部 》		
流動資産	5,709,748	6,448,627
固定資産	9,339,729	9,391,582
有形固定資産	6,030,886	6,387,406
無形固定資産	28,743	40,499
投資その他の資産	3,280,099	2,963,677
資産合計	15,049,478	15,840,210
《 負債の部 》		
流動負債	1,490,467	2,417,986
固定負債	930,199	992,498
負債合計	2,420,666	3,410,485
《 純資産の部 》		
株主資本	12,255,852	12,061,725
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	10,224,113	10,029,986
自己株式	△503,461	△503,461
評価・換算差額等	372,959	367,999
その他有価証券評価差額金	372,959	367,999
純資産合計	12,628,811	12,429,725
負債及び純資産合計	15,049,478	15,840,210

損益計算書〈単体〉

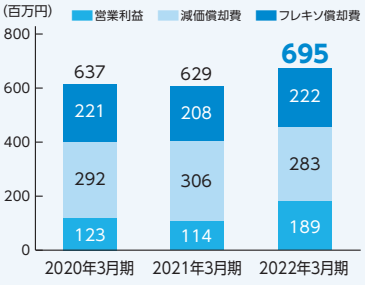
［単位：千円］

科　　目	当　期（2021年4月 1日から 2022年3月31日まで）	前　期（2020年4月 1日から 2021年3月31日まで）
売上高	8,474,235	8,529,600
売上原価	6,814,939	7,007,261
売上総利益	1,659,295	1,522,339
販売費及び一般管理費	1,522,089	1,490,097
営業利益	137,205	32,241
営業外収益	238,428	243,425
営業外費用	10,681	13,305
経常利益	364,953	262,360
特別利益	58,475	15,443
特別損失	28,577	16,974
税引前当期純利益	394,851	260,830
法人税、住民税及び事業税	96,272	78,461
法人税等調整額	4,481	9,900
当期純利益	294,097	172,469

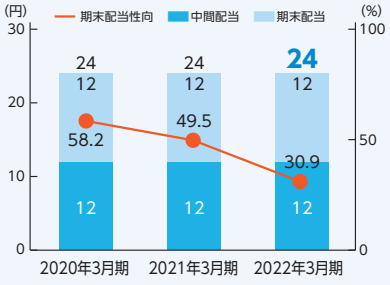
親会社株主に帰属する当期純利益



連結EBITDA推移



1株当たり配当金・配当性向



Webマーケティング

ビッグデータ解析による観光DXデジタルプロモーション

株式会社True Data／津軽海峡フェリー株式会社

消費者ビッグデータプラットフォームを展開する株式会社True Dataと、交通アプリ「NAVITIME」のビッグデータをかけ合わせ、津軽海峡フェリーを利用する観光客の志向や旅行ルートを探り、特定した属性やペルソナに当てはめて分析したデータをもとに包括的なプロモーション業務を受託しました。また、東北エリアのシニア層や関東圏の単身層などに対して、Webプロモーションを軸とした様々な施策も実施しており、メールマガジンの配信業務、広報誌発刊業務、Webサイト運営・保守業務なども包括的に行うことで、観光DXに繋げていく取り組みとなっています。

担当者 INTERVIEW

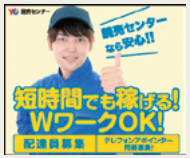
ビッグデータ分析より得られた、ターゲット顧客像に基づく販促施策を検討しました。セグメント別に「最適な広告クリエイティブ配信」を実施し、テストマーケティングを経て有効性の高い広告を本プロモーションとして実施した結果、GWの需要期にて高い乗船予約CVを獲得しました。

東京本社
開発営業部 次長
吉岡 直人 Naoto Yoshioka

配達スタッフ募集　Webマーケティング

株式会社 読売新聞大阪本社

読売新聞販売店の慢性的な人手不足の課題に対して、Webマーケティングを駆使した採用活動を提案しました。その結果、テストマーケティングにて実施した結果が認められ、重点地域（大阪、兵庫）で定期的なWeb広告配信を受注しました。また、スポットで奈良、和歌山、香川などでも実施しており、定番施策として定着しつつあります。



担当者 INTERVIEW

印刷分野だけでなく、デジタル分野も得意とする当社の強みを活かした戦略が、今回の成果に繋がったと感じています。また、今回の提案により「Webプロモーションもセキへ」との意識がお客様の中に定着していきました。

大阪支店
営業一課 次長
濱中 宏明
Hiroaki Hamanaka

キタマネジメント「CRM活用事業」

一般社団法人 キタマネジメント

観光で大洲市に宿泊する「ロイヤルカスタマー像の具体化」と、「旅マエ・旅ナカ・旅アトにおける観光客とのコミュニケーション設計」を目的とした事業を展開しました。ロイヤルカスタマー候補との接点として、高価格帯の古民家ホテルに宿泊した観光客に限定して、チェックイン時に特典付きパスポートの配付とLINE登録を行うことで、滞在中に役立つ観光Webサイトというコミュニケーションの導線を構築しました。また、LINEによって位置情報の把握や特典配付を行うことで、観光客の移動・来店データをはじめ、旅アトの満足度アンケートまでを取得する実証実験を行いました。

担当者 INTERVIEW

地方創生や観光は、国・自治体が特にデジタル化を推進している分野の一つです。成果の見える化をすることで、予算が適切な効果を生み出しているか検証を行います。本業務では、当社の強みである企画・クリエイティブとデジタルが融合した優良事例となりました。

松山本社
松山営業部
営業四課
玉里 壮司
Soji Tamari

事務局運営

松山市プレミアム付商品券事業「買いにいこうや！キャンペーン」

オール松山実行委員会

松山市や商工団体で構成する「松山市プレミアム付商品券事業実行委員会」が公募したプロポーザルに、株式会社まちづくり松山・株式会社まちペイと当社でコンソーシアム（オール松山実行委員会）として応募し、事業を受託しました。昨年実施した松山市内の飲食店支援事業「食べにいこうや！キャンペーン（松山市プレミアム付飲食券事業）」から発展し、支援対象となる業種・店舗を拡大して２ヶ月間展開させ、取扱店舗も約2,700店舗と大幅に増加しました。

担当者 INTERVIEW

当事業は地元企業で連携して取り組んだ事業であり、無事に運営することができたのは事業に関係する皆様の協力の賜物であり、松山市の経済活性化の一翼を担えたことを、とても誇りに思います。

松山本社 松山営業部
営業五課 係長
稲家 康二 Koji Inaya

松山本社 松山営業部
営業五課
渡部 将之 Masayuki Watanabe

松山本社 松山営業部
営業五課
越智 良樹 Yoshiki Ochi

「愛顔の安心飲食店認証制度」事業

愛媛県

愛媛県が定める新型コロナウイルス感染症対策基準を順守する飲食店の認証制度「愛顔の安心飲食店認証制度」が創設され、認証店普及拡大を図るための事務局業務を愛媛県から受託しました。2021年５月に事業を開始し、12月には認証店への15万円／感染対策強化促進奨励金給付事業を追加受注しました。また、2022年６月現在約4,800店舗を認証しています。

担当者 INTERVIEW

松山食べにいこうやキャンペーン、GoToEatキャンペーンの事務局運営の実績に基づく事業計画及びセキグループの信用あっての採用となりました。愛媛県民あるいは来県者が安心して会食する場の創出に貢献出来たことを誇りに思います。

松山本社
松山営業部 次長
藤田 圭也 Keiya Fujita

松山本社 事業戦略部
事業推進課
関井 誠 Makoto Sekii

SDGs

遍路文化を未来に伝承する活動「親子へんろみちウォーキング＆お接待体験」

一般社団法人 へんろみち保存協力会

当社内に事務局を構える（一社）へんろみち保存協力会では、SDGsに寄与する活動として、歩き遍路のための遍路道の保全活動や、地図編冊子・解説本冊子の出版、「親子へんろみちウォーキング＆お接待体験」などを開催しています。今年度は小学生とその親を対象に、観光ガイドによる道後温泉周辺の案内や伊予弁紙芝居の実施、親子歩き遍路・お接待体験などを開催しました。

担当者 INTERVIEW

今年度の親子遍路イベントは、盛況であり申込み数が定員を越えてしまい参加を見送って頂いた方もいました。参加しやすい場所であったことや告知方法の効果もあると思いますが、コロナ禍において野外活動の自粛が続いていた反動もあるのではないかと分析しています。参加した小学生からは、「お接待体験が楽しかった」「また来年も参加したい」などの感想が寄せられました。これからも遍路文化を後世に伝承していくために開催を続けてまいります。

一般社団法人 へんろみち保存協力会
事務局長（松山営業部 部長）
田中 伸二 Shinji Tanaka

水性フレキソ印刷＋ノンソルラミネートへの切り替え提案

ヤマキ株式会社

CO_2削減によるカーボンニュートラル実現に向けての取り組みとして、水性フレキソ印刷＋ノンソルラミネートへの切り替えを提案しました。その結果、商品リニューアルのタイミングで、実績品である「ふっくら卵焼きだし」フィルム包材に加えて、「茶碗蒸しの素」「釜玉うどんのつゆ」の新規受注に至りました。

環境にやさしい
水性フレキソ印刷

また、当社所属の水性フレキソ協議会が管理している「水性フレキソマーク」（環境省環境ラベル認定済）をフィルム包材に表示頂いています。

担当者 INTERVIEW

省資源パックをテーマとしてパッケージのリニューアルがあり、外袋の小型化と共に、シリーズ３品を水性フレキソ印刷で統一、パッケージには水性フレキソ印刷マークが入りました。環境対応の取り組みの一つとしてご活用いただいています。

松山本社
開発営業部
開発営業二課
菅 浩平
Kouhei Suga

伊予工場 木製パレットからプラスチックパレットへの切り替え

従来、工場内での製品・仕掛品の移動には木製パレットを使用していましたが、重く取り回しがしづらいこと、木くずが発生し異物混入のリスクがあること、腐食やカビの発生など衛生面でのリスクがあることなどが、課題として挙げられていました。

そこで、これらをプラスチックパレットに切り替えることで、利便性・安全性・耐久性・衛生面などの点において大きく改善させることができました。

今回は菊全判サイズを導入、来年度には四六全判サイズを導入する予定です。

担当者 INTERVIEW

工場内をサイクルするプラスチックパレットは、木製パレットと違いしっかりとした作りとなっているため、平置きの他、ラックでの保管にも最適であり、破損のリスクが小さいことが魅力です。また、木くずが出ず腐食する心配もないため、衛生的＆長寿命であり、環境に配慮した工場づくりに繋がっています。

伊予工場
物流課 課長
石丸 卓司
Takuji Ishimaru

その他

障がい者アートデザインコンペ

愛媛県／愛媛県障がい者アートサポートセンター

愛媛県と愛媛県障がい者アートサポートセンターが主催する「障がい者アートデザインコンペ」に企画部のデザイナーが参加し、今治タオルのプランが最優秀賞、クッキーのプランが審査員特別賞を受賞しました。本事業は、障がい者の自立や社会参加を促進するための取り組みで、障がい者アーティストとデザイナーがチームを組んでワークショップとプレゼン発表を行い、協賛企業が商品化したいプランを選出するというコンテスト形式のものでした。各企業様より高く評価いただいた弊社デザイナーのプラン「恐竜タオルハンカチ『コア竜図鑑』」は協賛企業の協力のもと実際に商品化され、店舗やインターネットで販売されています。

担当者 INTERVIEW

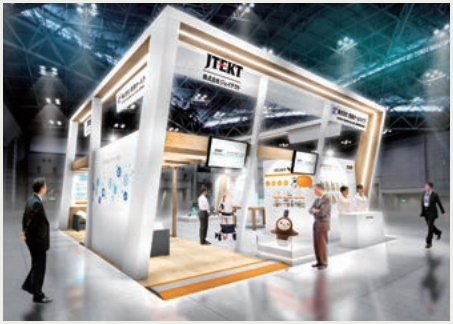
今治タオルの部門で私が担当したアーティストは、恐竜が大好きな中学生の男の子。恐竜のタオルというと子ども向けのものが多い印象ですが、多くの方に作品を知ってもらうことが重要だと考え、大人も持てる配色とワンポイントの刺繍で展開し、アーティストの情報を盛り込んだタグも制作しました。SDGsの一環として成果を残せたことを光栄に思います。

松山本社 企画部
コミュニケーションデザイン課
大西 柚実 Yuzumi Onishi

国際福祉機器展2021 出展ブース作製

株式会社豊通オールライフ

コロナ禍により東京ビッグサイトにて２年ぶりの開催となった国際福祉機器展（HCR）の展示ブースのコンペに参加しました。今回は株式会社豊通オールライフと株式会社ジェイテクトとの共同出展になったこともあり、当社がコンペに参加して以降最大規模のブースで、「最先端の介護を表現したい」というお客様のご要望を踏まえ、先進性と介護の温かみを共存させたブースを提案し、採用となりました。



担当者 INTERVIEW

固定概念を無くし、お客様にとっての「最適化」を提案した案件です。長年必須条件とされていたブース全体の高さ上限について、コスト配分を見直し、注力ポイントを「造作」に変更した仕様にすることでブース全体のクオリティ向上を図りました。

株式会社ジェイテクトでは商品の問い合わせ件数が過去最多となるなど展示会としての結果も含め高い評価をいただき、直接取引を開始することができました。

名古屋営業所
係長
清水 泰次 Taiji Shimizu

その他

伊予工場 外壁再塗装・コーキング打ち直し工事

伊予工場新設から32年が経過し、外壁の褪色や、継ぎ目部の劣化などが見受けられたため、外壁塗装・コーキングの打ち直しを実施しました。併せて、当社ロゴのLED電飾サインの設置や防鳥ネットの設置、通気ダクトへの金網設置などを行い、2022年３月末に全ての工事が完了しました。

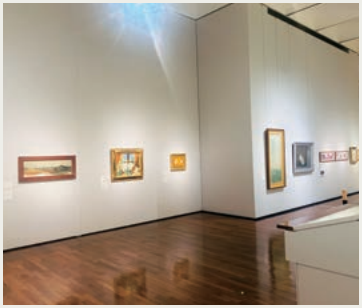
担当者 INTERVIEW

1990年に伊予工場を新設して以来、初めてとなる工場建屋の改修工事を実施しました。
外壁は白を基調とし、当社のコーポレートカラーであるブルーラインが映えるデザインとなっています。
また外壁には自発光式のLED電飾サインを設置、日没後には"SEKI"のロゴマークが白く光ることで周囲からの視認性を高め、存在感のある工場へと生まれ変わりました。

伊予工場 工場長
竹内 秀樹 Hideki Takeuchi

愛媛県美術館 企画展「Hello ！えひめの企業アートコレクション ひろがる美のかたち」へ作品を出品しました

県内の企業が所有する美術品を集めた企画展が、愛媛県美術館にて2022年２月１日～３月21日に開催されました。
愛媛県内企業28社より128作品が揃い、これまでに公開される機会が少なかったアートコレクションが一堂に紹介され、好評を博しました。
企業ミュージアムとして位置づけられている「セキ美術館」からは、加山又造の作品を中心に10点余を出品しました。



お知らせ（訃報）

2022年２月22日に取締役相談役の関宏成（せきひろしげ）が、享年102（満100歳）で永眠いたしました。
関宏成は、1949年に代表取締役社長に就任し、印刷事業の拡大に尽力して参りました。また、芸術にも造詣が深く、長年作家と親交する中で蒐集した絵画コレクションを公開する施設として、1997年に「セキ美術館」を開館し、25年間館長として収蔵作品の充実に勉めました。

会社・株式情報 2022年3月31日現在 COMPANY・STOCK INFORMATION

会社概要

商号	セキ株式会社
本社	〒790-8686 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
ホームページ	https://www.seki.co.jp
e-mail	info@seki.co.jp
設立	1949年3月31日
資本金	1,201,700千円
従業員数	285名(連結448名)

株式の状況

発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	4,508,000株
株主数	505名

営業拠点及び工場

松山本社	愛媛県松山市湊町七丁目7番地1	Tel.089-945-0111
東京本社	東京都渋谷区代々木三丁目2番8号	Tel.03-3377-1230
大阪支店	大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3番22号 新大阪長谷ビル605号	Tel.06-6307-0001
高松支店	香川県高松市番町三丁目3番17号 第一讃機ビル5階	Tel.087-831-1777
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区錦一丁目7番32号 名古屋SIビル4階	Tel.052-857-1301
広島営業所	広島県広島市東区光町一丁目7番11号 広島CDビル1階	Tel.082-568-6677
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目7番35号 博多ハイテックビル603号室	Tel.092-433-8680
高知営業所	高知県高知市神田971番地1	Tel.088-832-0274
伊予工場	愛媛県伊予市下三谷290番地1	Tel.089-945-0111
SEKI BLUE FACTORY	愛媛県伊予市下三谷1番地8	Tel.089-945-0111
セキ美術館	愛媛県松山市道後喜多町4番42号	Tel.089-946-5678

役員一覧(2022年4月1日現在)

代表取締役会長	関 啓三
代表取締役社長	関 宏孝
専務取締役	関 宏晃
常務取締役	西上 慎司
取締役	藤原 武彦
取締役	松友 孝之
取締役	岡田 克志
社外取締役	宮部 高至
常勤監査役	松長 茂
社外監査役	成松 勲
社外監査役	十河 嘉彦
執行役員	大峰 博之
執行役員	板東 良数
執行役員	吉川 浩司

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に開催
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日
公告の方法	当社のホームページ(https://www.seki.co.jp)に掲載
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券銘柄コード	7857
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(平日9:00～17:00)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

[株式に関する住所変更等のお手続についてのご照会]

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続ができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

株主ご優待制度

毎年3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記録された株主様に対して、「セキ美術館」ご招待券並びに自社製品を贈呈いたします。

■「セキ美術館」ご招待券

対　象：3月末日及び9月末日の株主様
贈呈時期：3月末日現在の株主様　6月下旬
　　：9月末日現在の株主様　11月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚

■ 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース(20箱)

対　象：3月末日現在、
　　1,000株以上保有の株主様
贈呈時期：7月上旬

■ 自社カレンダー 1部

対　象：9月末日現在、
　　100株以上保有の株主様
贈呈時期：11月下旬

壁掛けカレンダー

卓上カレンダー

22_Ehime
BY FRIENDSHIP EHIME

愛媛の選りすぐりの商品とストーリーをお届けする オンラインストア／WEBメディア 「22_Ehime（トゥートゥーエヒメ）」をオープン

当社は、株式会社愛媛銀行、南海放送株式会社と共同で設立した地域商社、株式会社フレンドシップえひめにおいて、愛媛の選りすぐりの商品とストーリーをお届けするオンラインストア／WEBメディア「22_Ehime（トゥートゥーエヒメ）」を、2022年3月22日にオープンいたしました。

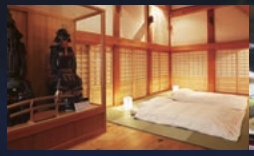
世界に誇るテキスタイルデザイナーの石本藤雄さんをはじめ、えひめを愛する推薦人がおすすめする、次の世代に伝えたい一品を多数掲載。読みものとしての記事コンテンツも充実しており、商品が生まれた背景や“つくり手”の想いを知りながら、お買いものをお楽しみいただくことができます。

当サイトを通して、地元企業様と連携しながら、愛媛県産品の販路拡大等に取り組み、収益機会の拡大を図ることで愛媛県の経済を活性化させてまいります。

HPはこちら

大洲城キャッスルステイ

木造復元天守に泊まる「日本初」の体験、大洲城キャッスルステイ。NIPPONIAホテル大洲城下町を経営するバリューマネジメント株式会社と、一般社団法人キタ・マネジメント、大洲市役所などが連携して実施しております。当社では、大洲の城下町文化を宣伝・PRする観光関連事業を様々なソリューション分野において受託しております。



セキ株式会社 www.seki.co.jp

証券コード：7857

〈取得認証一覧〉

JAPAN COLOR 標準印刷認証 マッチング認証

だいせつにします プライバシー 24000010(11)

ISO 14001 JQA-EM2126 伊予工場

FSC www.fsc.org FSC® C006732 責任ある森林管理のマーク

DBJ 環境格付 2018

GREEN PRINTING JFPI F-B10260 伊予工場
本工場は、環境に配慮したGP認定工場です。

〈本誌印刷物における環境対応〉

GREEN PRINTING JFPI P-B10260
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C006732
FSC®森林認証紙を使用しております。

VOC FREE T&K
VOC（揮発性有機化合物）成分フリーのインキを使用して印刷しました。

〈本誌使用フォント〉

UD FONT
文字が識別しやすく読みやすいユニバーサル書体を使用しています。